

**第497回 3月23日開催
出席委員（50音順・敬称略）**

荒巻 裕 大村 英昭
森 輝彦
倉光 弘己(書面参加)
黒田 勇(書面参加)

◆ テレビ番組

「知ったかぶりクイズ

あなた説明できますか？」

2月26日（土） 14時00分～15時24分放送

毎日放送の第497回番組審議会は3月23日大阪市北区の本社で開かれ、2月26日に放送したテレビ番組「知ったかぶりクイズ あなた説明できますか？」を審議した。『ピラフとチャーハン』『おはぎとぼたもち』『ランニングとジョギング』など、似たような言葉がたくさんあるが、この番組は二つの言葉の違いをクイズ形式で答える、大人の日本語バラエティ。

委員の主な意見

- * 数多いバラエティ番組を各局が競い合っている中で、まずまずのできばえ。注文としては、この種のいわばクイズバラエティ番組では、はしょったり答えを急ぎ過ぎない方がいい。答えを導き出していく過程の掛け合い、ひらめき、ずっこけ具合、そういう過程のおもしろさや楽しさを、視聴者は期待していると思う。
- * 一見似ているけれども実はかなり違う類似語を、言葉の遊びとしての取り上げ知的バラエティとして、正解にたどりついていく。面白く好感をもって見た。
- * 近年毎日放送が成功している「ちちんぷいぷい」「知っとこ!」「せやねん!」「あん!」等々、日常生活情報をベースとした、興味深い、非常に日常的な、視聴者に近い素材を提供するという路線。その延長線上に、この番組もあるという印象を受けた。相乗効果を持ちながら局イメージを作っていく。単発であっても、この種の企画はよかった。

*この番組は知ったかぶり、雑学ぶりを競うより、罰ゲームの毒舌で笑わせるほうに重点があるのだから、仕方がないことだが、本来の知ったかぶりからすれば、物足りない。本質的な「蘊蓄(うんちく)番組」だと、視聴率は落ちるだろうが、もうちょっと知ったかぶりを満足させてほしい。

*パイロット番組として作られたのかもしれないが、やはり完成度の低さは否めない。今後レギュラー化するには、改善の余地はかなりあると思った。罰ゲームの内容が気になった。もっと楽しく笑えるものを。「人に優しい笑い」、「愛情を持った毒気」を。

◆ テレビ・ラジオの4月編成について

テレビ、ラジオの4月編成の概要・特徴について、編成局長とラジオ局長がそれぞれ報告した。